

## 令和5年度 学力向上計画・報告書

〇〇町立〇〇学校

(年度当初の計画)					(進捗状況の報告)		
取組Ⅰ 教育課程の改善・充実							
No.	主な取組	主担当者	学年等	具体的な内容	重点時期	後期訪問時の状況と今後の手立て	重点時期
記入例	学級活動の充実	特活主任	全学年	○学級活動(1)領域の話合い活動を充実させ、児童の思いや願いの実現に向けて、安全かつ安心な学級の雰囲気醸成する。また、第1回の学校評価アンケート結果で取組状況を把握し改善策等を検討する。	年度当初	○年間指導計画に基づき学級会を実施することができたので、効果的な手立てを共有してより質の高い学級会活動となるよう工夫する。また、他教科での対話的な学習につなげていく手立てについても協議していく。	2学期
1							
2							
取組Ⅱ 指導体制の工夫							
記入例	学習規律の共通理解と共通実践	全職員	全学年	○学習スタンダードを全校で共有し、学習に取り組みやすい環境を整える。学期末にアンケートや教師の見取りから成果と課題を検証する。	年度当初	○1学期末の取組状況から、学習規律を意識して授業を行っている教員が多く、児童も概ね守っている。一往復半+αの話合い活動を充実させ、主体的に学習に取り組めるようにする。	一人1授業期間
1							
2							
取組Ⅲ 指導力の向上							
記入例	単元計画の作成	全職員	全学年	○「単元構想シート」を作成し、単元の課題、資質・能力が身に付いた単元末の児童の姿を意識した授業づくりとPDCAに基づく検証を行う。	通年	○「単元構想シート」に基づく授業づくりに取り組み、実践できた。教師が単元の課題を与えてしまうが多かった。日常生活との関連を図りながら児童が主体的に解決しなくなるような課題設定の仕方を工夫し、その情報を共有して授業改善を進める。	一人1授業期間
1							
2							
取組Ⅳ 全国学力・学習状況調査結果の活用							
記入例	全国学力・学習状況調査の成果及び課題分析	学力向上コーディネーター	全学年	○実施学年の教職員だけでなく、全職員で分担して全国学力・学習状況調査問題を解き、授業改善の視点を協議し共通理解を図る。	夏休み	○国語科の「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られるので、これを重点指導項目に位置付け、各学年で系統的に指導し、後期訪問における代表授業で扱う。	一人1授業期間
1							
2							
取組Ⅴ 家庭・地域との連携							
記入例	読書時間の確保	情報主任 図書主任	全学年	○中学校区△校で、毎月〇日をノーマディアデーを設定し、家庭学習で読書するきっかけをつくる。また、第1回の学校評価アンケート結果で取組状況を把握し改善策等を検討する。	毎月〇日 夏休み	○第1回の学校評価アンケートで、児童の読書に関する評価が低かったため、〇〇通信でノーマディアデーの意義を啓発するとともに、読書記録を書かせ書く力の育成と関連を図りながら、読書する必要性を理解させる。	読書週間 10/27 ～11/9
1							
2							